

記者発表資料

首都直下地震、大規模水害に備えて

～関係自治体・災害時協定会社とともに災害対策用機器の操作訓練を実施します～

国土交通省 相武国道事務所、東京国道事務所、荒川下流河川事務所では災害対策用機器を配備しており、災害発生時に迅速な復旧活動が行えるように、国営昭和記念公園(立川口駐車場)において災害対策用機器の操作訓練を実施します。

災害対策用機器は、直轄管理施設の災害復旧に加え、地方自治体の要請に基づき応援派遣を行っております。首都直下地震などの災害発生時には、直轄管理施設の災害復旧とともに地方自治体への支援活動を行います。

操作訓練には、国土交通省職員や災害時協定会社社員^{※1}のほかに、災害発生時における円滑な支援や連携を目的として、関係自治体の職員も参加します。

■ 日時

平成26年6月11日(水)【雨天決行】
13:00～17:00(12:30～受付開始)

■ 場所

国営昭和記念公園(立川口駐車場)
(東京都立川市緑町3173)

■ 訓練参加予定者

国土交通省職員
災害時協定会社^{※1}社員
関係自治体職員 総勢200名程度

■ 訓練内容及び対象機器

次の災害対策用機器の設置(設営)及び操作訓練を実施します。

- ①対策本部車(拡幅型)、②待機支援車、③排水ポンプ車、
- ④照明車、⑤Ku-SAT II(衛星小型画像伝送装置)

■ 取材について

当日、12時30分より国営昭和記念公園(立川口駐車場)にて受付を行います。

※担当職員による訓練内容や災害対策用機器の説明、一部災害対策用機器内部の撮影等が可能です。

※1:各事務所と「災害応急対策業務に関する協定」を締結している会社。



(H25年度の訓練状況)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、八王子記者クラブ
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、川口市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

相武国道事務所

TEL:042-643-2001(代表)

副所長

窪田 光作(内205)

管理第二課長

水野 秀幸(内441)

東京国道事務所

TEL:03-3512-9090(代表)

建設専門官

仲村 哲男(内306)

施設管理課長

一本 秀樹(内391)

荒川下流河川事務所

TEL:03-3902-2311(代表)

副所長

佐藤 勝(内205)

施設管理課長

佐久間 孝司(内391)

■災害対策用機器

対策本部車(拡幅型)



災害現場で情報収集、復旧作業の指揮等を行う車両です。
本部車の床を広げて使用することが可能です。

待機支援車



災害現場での休息、仮眠用の車両です。
災害の長期化に対する後方支援に使用します。

排水ポンプ車



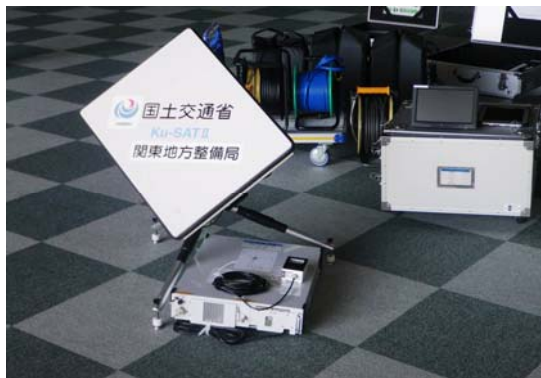
大雨等の浸水時において、河川に排水する車両です。
水中ポンプと発電機を搭載しており、浸水等の災害発生時に使用します。

照明車



災害時において、被災現場の夜間照明の車両です。
発電機とクレーンの先に照明をつけており、道路や河川の被災現場を照らし現場の安全確保や状態監視に使用します。

Ku-SAT II (衛星小型画像伝送装置)

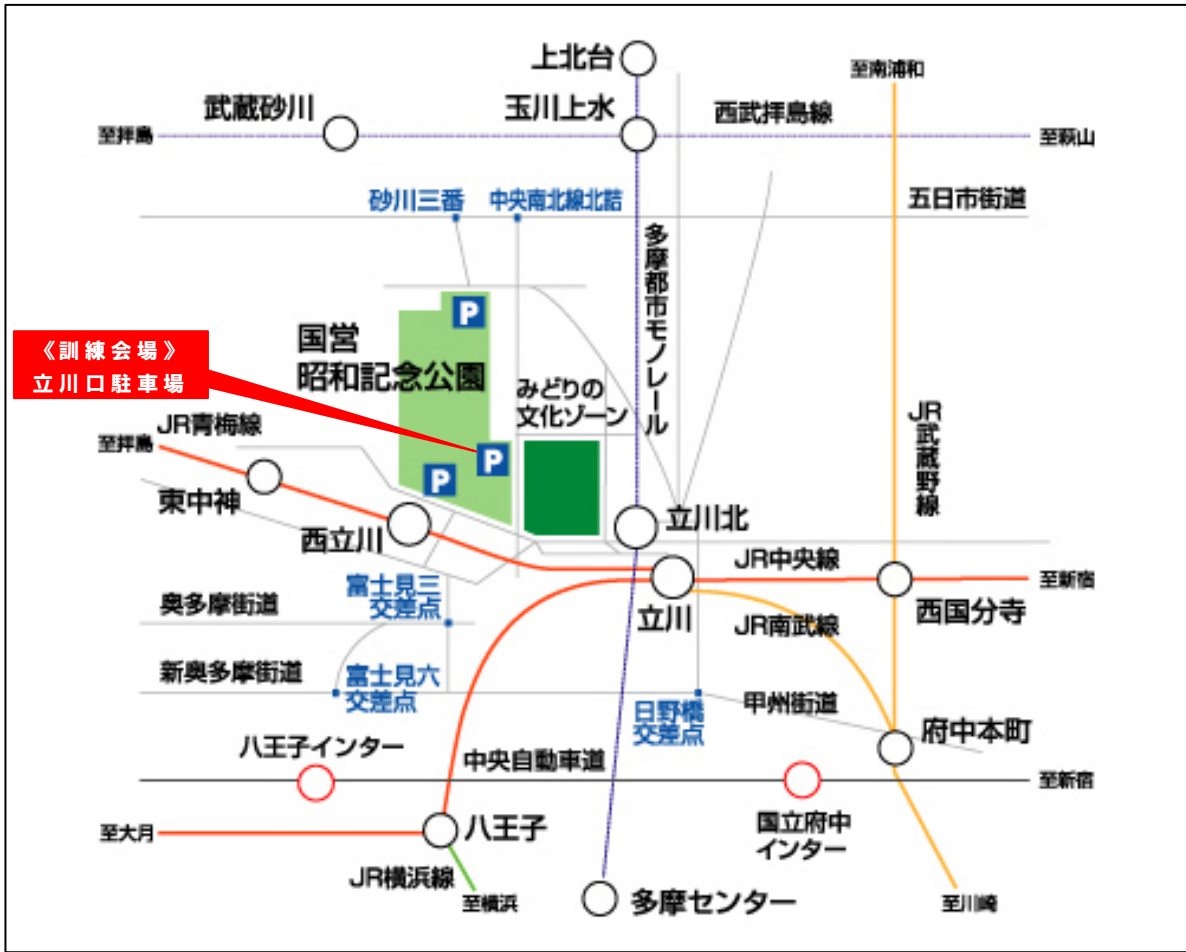


災害時において、通信手段を支援する装置です。
人工衛星を利用して、山間部等の通信不能箇所において、災害現場の状況映像を対策本部に送ることができます。

■災害用対策機器操作訓練 会場案内図

国営昭和記念公園 立川口駐車場(東京都立川市緑町3173)

国営昭和記念公園 位置図



出典: 国営昭和記念公園ホームページ

訓練会場(立川口駐車場) 詳細図



資料提供: 国営昭和記念公園事務所